

[様式2] 令和5年度 第2学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析
東京都北区立滝野川第四小学校

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
ほとんどの項目で目標値と同程度の結果となった。特に、「物語を読み、分かったことを共有する」内容が8ポイント、「言葉の順序や情報の関係の理解」の内容が5ポイント目標値を上回った。しかし、「文章を書く」内容では10ポイント以上下回っている。また、無回答も27.6%と多い。	「知識・技能」「思考・判断・表現」においては目標値と同等である。区平均正答率と比較すると、全ての項目において下回っている。特に「主体的に取り組む態度」においては、目標値から8ポイント、区平均正答率から14ポイント下回っている。	前学年までの漢字の読み書きや言葉の順序理解は、平均程度の力が付いている。しかし、初見の文章の内容を読み取る力や、問題を理解し、文章に表す力に課題が見られる。また、与えられた時間までに最後の問題までたどり着けなかったり、難しいと感じる問題を避けてしまったりすることで、無回答の割合が多い。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「数と計算」は0.3ポイント、「図形」は2.5ポイント目標値を上回った。「測定」は1.3ポイント、「データの活用」は5.5ポイント目標値を下回った。区平均正答率と比較すると、全ての項目において下回っている。文章問題を作ることににおいては、無回答が15%となっている。	「思考・判断・表現」が3ポイント目標値を上回っている。他の2項目については目標値を1ポイント程度達成していない。区平均正答率と比較すると、全ての項目において下回っている。特に、「知識・技能」「主体的に取り組む態度」において、6ポイント下回っている。	前学年で習得すべき内容は、おおよそ身に付いている児童が多い。しかし、区平均正答率と比較すると、下回る結果となっている。特に、グラフの読み取りや、時計の読み方に課題が見られる。問題文が理解できず、無回答となっている箇所も多く考えられる。

[様式2] 令和5年度 第3学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
ほとんどの項目で目標値と同等か上回る結果となった。しかし、区平均正答率と比較すると、全ての項目において下回る結果となっており、特に「お話を書く」の内容では、区平均正答率を6ポイント下回る結果となっている。	全ての観点において、全国平均正答率と同等か上回る結果となった。しかし、区平均正答率と比較すると、全てにおいて下回っており、特に「思考・判断・表現」の項目では、区平均正答率を4ポイント近く下回る結果となった。	前学年までに既習の漢字に関しては、送り仮名のある漢字の書き取りに課題が見られる。また、物語文・説明文の読み取りにおいて、登場人物の行動を具体的に想像したり、内容の大体を捉えたりすることに課題が見られる。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
ほとんどの項目で目標値を上回っており、特に「ひょうやグラフ」の内容では、目標値を10ポイント、全国平均を4ポイント上回る結果となった。一方、「三角形と四角形」の内容では、目標値を3ポイント、区平均正答率を4ポイント下回る結果となった。	全ての観点において、目標値・全国平均正答率と同等もしくは上回る結果となった。一方、全ての観点において区平均正答率を下回っており、特に「知識・技能」の項目では、7ポイント近く下回る結果となった。	基本的な計算はできるものの、文章題の題意を捉えたり、図で表したりすることに課題が見られる。また、図形を描いたり、図形の特徴について理解したりすることや、水のかさの理解に課題が見られる。知識を活用する力や馴染みの少ない分野の力を強化していく

[様式2]

令和5年度 第4学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
すべての領域別正答率は、目標値及び区平均を上回っている。「物語の内容読み取り」では目標値は上回っているが、区平均からは3ポイント下回った。「調べたことをもとに文章を書く」では、区平均程度であり目標値からは7ポイント上回っているが、到達度は6	すべての観点において、目標値を上回ることができた。「主体的に学習に取り組む態度」も、7割を示している。「思考・判断・表現」では、基礎問題「登場人物の気持ちの変化について具体的に想像している」の記述が正答率5割を切っている。	内容別・領域別に見て、「書くこと」ことに課題がある。書くことにおいては、文章を書くことと調べてことをもとに文章を書くことにおいてポイントが下がる。解答形式においても記述式において無答や5割以下がみられ、日々の学習で自身の読み取りを表現する活動をくり返し取り組み、定着を図る必要がある。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
すべての内容において、目標値、全国の平均正答率を上回ることができた。領域別では「データの活用」において正答率94.7%であり、他の領域も7割を上回っている。しかし、目標値は上回っていても、かけ算や長さ・重さの内容で7割を下回っており、基礎的な部分が未定着な児童が1割程度存在している。	全観点において、目標値、全国の平均正答率を上回ることができた。「主体的に学習に取り組む態度」は目標値を9ポイント上回った。しかし、「思考・判断・表現」においては目標値を9.1ポイントも上回っているものの、正答率としては7割を切っている。	算数の学習に意欲をもって主体的に取り組む様子が、目標値を超える結果につながっていると考える。問題の内容によって正当率が大きく差が出るものもあり、習得が不十分な部分もあることが分かる。理由説明や問題の読み取りと共に、既習事項の復習が必要
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
ほとんどの項目で目標値、区平均を上回る結果となった。特に風やゴムのはたらきでは、目標を12.4ポイント、区平均を7ポイント上回る結果となった。しかし音の性質は目標を5ポイント、電気の通り道は1ポイント下回る結果となった。	全ての観点で、目標値・区平均・全国平均を上回る結果となった。特に主体的に学習に取り組む態度においては、目標と区平均を7.5ポイント、全国平均を11.5ポイント上回るという、かなり高い結果となった。	多くの内容で、目標値を上回っている。しかし観点の結果を見ると分かるとおり、知識技能に比べて、思考・判断・表現は8ポイント近く落ちている。知識を身につけるだけでなく、活用する力も身につけていくことが必要である。

[様式2]

令和5年度 第5学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
ほとんどの内容で目標値を超え、「説明文の内容を読み取る」の内容が12.5ポイント、「学校をしようかという新聞を作る」の内容が12.3ポイント上回った。しかし、「話し合いの内容を聞き取る」の内容が0.5ポイント目標値を下回る結果となった。	全ての観点で目標値と全国平均正答率を上回った。しかし、区の平均正答率は全てにおいて下回る結果となった。	内容別・観点別に見て、話し合いの内容を聞き取ること、「話すこと・聞くこと」について課題が見られる。話を聞きながら、意見の相違点に着目して考えをまとめることに課題がある。
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「くらしをささえる水」の内容が4.9ポイント、「先人のほたらき」の内容が5.4ポイント目標値を上回る結果となった。しかし「ゴミの処理と利用」の内容が目標値、区・全国平均正答率を下回る結果となった。	全ての観点で目標値と全国平均正答率を上回った。しかし、区の平均正答率は全てにおいて下回る結果となった。	内容別・観点別に見て、資料に着目して必要な情報を捉えること、内容によっては知識の定着に課題が見られる。また、読み取ったことを表現することにも課題が見られる。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「簡単な場合についての割合」の内容が15.1ポイント、「折れ線グラフ」の内容が16.7ポイント上回る結果となった。しかし、「いろいろな形」の内容が、目標値を2.5ポイント、「小数」は2.6ポイント下回る結果となった。	全ての観点で目標値と全国平均正答率を上回った。また、「思考・判断・表現」は、区の平均正答率を上回る結果となった。	全体的に課題が少ない教科であると考えられる。しかし、図形や小数には課題が見られる。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「月と星」の内容が10ポイント、「自然の中の水」の内容が7ポイント上回る結果となった。12項目中4項目は、目標値を下回り、また、3項目は区・全国平均正答率を下回る結果となった。	「知識・技能」は、目標値は上回ったが、全国平均回答率は下回る結果となった。その他2観点においては、目標値と全国平均正答率を上回った。また、「主体的に学習に取り組む態度」については、区の平均正答率を上回る結果となった。	全体的に課題が見られる。主体的に学習に取り組む態度については平均を上回っていることから、実験結果を知識に結び付けていくことが必要であると考えられる。

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全ての内容で区の平均値を上回る結果となった。個別の問題を見てみると、目標値に比べて低かったのは、「説明文の内容を読み取る」で、7.8ポイント下回った。また、傾向として文章を書く問題で無回答の児童が一定数いることがわかった。	全ての観点でと区平均正答率を上回った。しかしその中で低い傾向にあるのは「主体的に学習に取り組む態度」であった。目標値は11.4ポイント越えているものの、他の2点に比べ低い数値であった。	内容別・領域別に見て、「説明文の内容を読み取る」において目標値との差が見られた。構成の読み取りはできているが、全体的に「書くこと」について正答率が低いことから、要点を踏まえて自分の考えを書く経験が足りていないことがわかった。
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「日本の水産業」の内容が目標値、区・全国平均正答率を下回る結果となった。台風や輸出入に関して正答率が低く、目標値・全国平均正答率に達していないという結果だった。	全ての項目において、目標値を上回る結果となった。特に「主体的に学習に取り組む態度」については目標値を11.7ポイント上回ったが、区の平均とは差があまりないことから特出してよい正答率ではない。	日本の主な輸出入品については半数以上が選択肢であるにもかかわらず誤答していることから、基礎的な知識についてかけていることがわかった。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「分数の計算」の内容が目標値、区平均正答率を下回る結果となった。分数における通分をする計算が特に正答率が低いということがわかった。	全ての項目において、目標値を上回る結果となった。どの項目についても区の平均正答率に近い結果ではあった。「主体的に学習に取り組む態度」については12.1ポイント上回った。	基本的な計算はできているものの、活用問題の正答率が低く、課題である。また、記述問題の正答率が低いことから、考えを表現することに課題があると考えられる。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
10項目中3項目で目標値を下回った。「ふりこのきまり」においては2.3ポイント、「物のとけ方」においては4.1ポイント、「電流のはたらき」においては3.2ポイント目標値を下回る結果となった。	「思考・判断・表現」において、目標値を下回っている。「知識・技能」は目標値を1.4ポイント上回る結果となった。他の2点についてはほぼ平均値と同値だった。	多くの内容において課題があった。各単元で身に付いていない内容があり、基礎・活用共に課題がある。特に実験を必要とする単元での正答率が低いことから、児童の体験活動が足りていないのではないかと考えられる。